

平成 22 年度 機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出、輸入とも3年ぶりにプラスの大幅回復～(図表1)

- (1)平成 22 年度の**全商品輸出額**は、67 兆 7,927 億円で、対前年比(以下同じ) **14.9%増**と前年度の戦後最大の落ち込みから(17.1%減)から、3年ぶりにプラスの大幅成長となった。これは、①中国、NEIS/ASEAN を中心に全地域の機械輸入需要が好調であったこと、②商品別では輸出額の 20% を占める一般機械(32.7%増)、22%の輸送機械(13.1%増)、13%の鉄鋼等原料別製品(18.4%増)等が増加したことによる。
- (2)一方、**全商品輸入額**は 62 兆 2,902 億円で、**16%増**と 3 年ぶりにプラスの大幅回復となった。これは輸入額の 29%を占める鉱物性燃料(18.8%増)、9%の鉄・非鉄金属等原料別製品(22.8%増)、8%の鉄鋼石等原料品(40.7%増)が大幅に増加したためである。
- (3) この結果、貿易黒字額は輸入の伸び率が輸出を上回ったため、2.9%増の 5 兆 5,025 億円と低い伸びとなった。

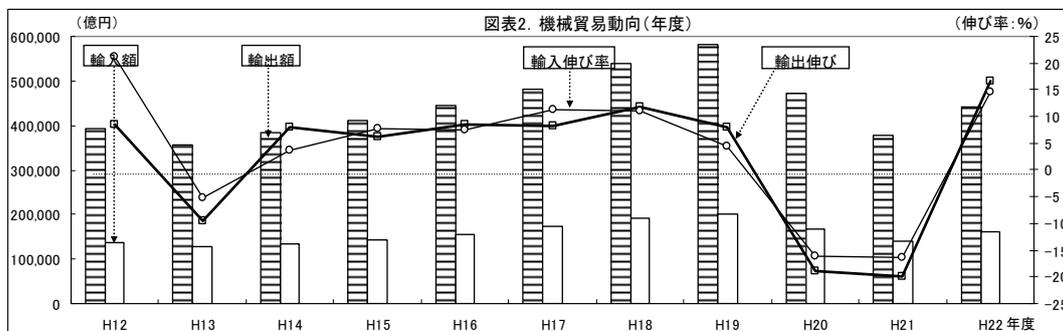
図表1. 全商品・機械貿易動向(年度)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)			
		平成21年度	伸び率	平成22年度	伸び率	平成21年度	伸び率	平成22年度	伸び率
輸出	全商品	590,250	▲ 17.1	677,927	14.9	637,050	▲ 9.0	789,113	23.9
	機械	378,466	▲ 19.8	441,506	16.7	408,658	▲ 11.9	513,907	25.8
	シェア	64%		65%					
輸入	全商品	536,797	▲ 25.3	622,902	11.6	578,845	▲ 18.2	725,616	25.4
	機械	141,033	▲ 16.3	161,478	14.5	152,070	▲ 8.6	188,033	23.6
	シェア	26%		26%					
収支	全商品	53,452		55,025	2.9	58,204		63,497	9.1
	機械	237,433	▲ 21.7	280,028	18.0	256,589	▲ 13.7	325,874	27.0
	シェア	4.44倍		5.08倍					

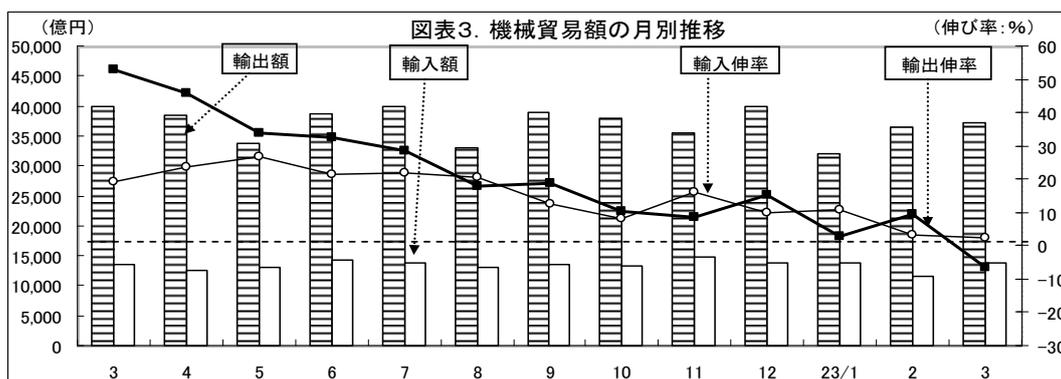
2. 機械貿易動向

(1)機械輸出入動向～機械輸出は昨年3月をピークに漸減、本年3月にはマイナス～(図表1、2、3)

- ①全商品輸出額の 65%を占める**機械輸出額**は 44 兆 1,506 億円で、前年度比 **16.7%増**と昨年度の1950年以降の最大の落ち込み(19.8%減)からプラスの大幅増となった。この輸出額は、リーマンショック以前の平成 19 年度の 76%の水準である。月別輸出額では、昨年3月の 53.1%増をピークに、年度では対ドルで過去最高値となった円高(86.1 円)の影響や自動車需要の漸減もあって輸出伸び率は徐々に低下し、本年3月には東日本大震災による製品・部品の供給不足で 6.3%減と 16 ヶ月ぶりにマイナスとなった。
- ②全商品輸入額の 26%を占める**機械輸入額**は 16 兆 1,478 億円、**14.5%増**と 3 年ぶりのプラス成長となった。月別輸入額は、昨年5月の 26.9%増をピークに国内での生産活動の陰りなどを反映して伸び率を徐々に低下させ、本年2月、3月には2～3%増の低い伸びに止まった。



年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
対ドルレート(円)	124.8	122.4	113.5	107.5	112.8	116.9	114.9	100.6	93.1	86.1
円高(-) %	13.5	-1.9	-7.3	-5.3	4.9	3.6	-1.7	-12.5	-7.4	-7.5



(2)地域別輸出動向～中国を中心に全地域で大幅回復～(図表4、5)

大幅なプラス成長となった要因を地域別で見ると、以下の通り。

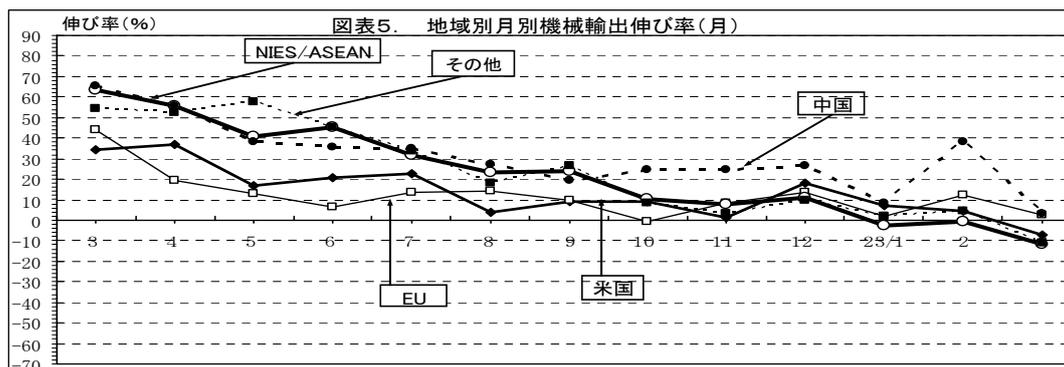
- ①最も高い伸びとなったのが、機械輸出額の19%を占める**中国向け**で、産業機械(53.6%増)、乗用車(25.7%増)、工作機械(2.4倍)、陸用内燃機(93.2%増)、繊維機械(67.0%増)、建設機械(36.8%増)等が大幅に増加し、**26.7%増**となった。
- ②次が19%の**その他地域向け**で、ロシア・東欧(59.5%増)、インド(31.4%増)、南米(22.9%増)、大洋州(18.2%増)向けが大幅に伸び**17.6%増**となった。
- ③29%の最大輸出地域の**NIES/ASEAN向け**は、台湾(23.9%増)、タイ(30.1%増)、インドネシア(41.9%増)、マレーシア(21.8%増)等向けが大幅な伸びとなり、機種別では、工作機械、半導体製造装置、電子計測器、自動車、建設機械等が増加し、**17.2%増**となった。
- ④20%の**北米向け**は、同国向け輸出額の半分を占める自動車(8.1%増)が増加したほか、半導体製造装置等産業機械(21.1%増)、建設機械(3.2倍)、工作機械(93.8%増)、陸用内燃機械(55.2%増)等が増加し**11.3%増**となった。
- ⑤13%を占める**EU向け**は、産業機械(15.5%増)、自動車部品(18.6%増)、建設機械(2倍)、工作機械(80.7%増)等が大幅増となり**9.3%増**となった。

なお、リーマンショック以前の平成19年度の機械輸出額と比較すると、中国は水準を大きく超え、NIES/ASEANは85%の水準にまで回復したが、その他地域は69%、北米は65%、EUは57%の水準である。

図表4. 地域別機械輸出動向(年度) (単位: 億円)

輸出先	平成20年度			平成21年度			平成22年度			対19年度比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	471,602	▲ 19.0	100.0	378,466	▲ 19.8	100.0	441,506	16.7	100.0	0.76
北米	103,592	▲ 28.9	22.0	78,745	▲ 24.0	20.8	87,624	11.3	19.8	0.65
EU	71,837	▲ 25.5	15.2	50,556	▲ 29.6	13.4	55,261	9.3	12.5	0.57
NIES/ASEAN	121,569	▲ 18.1	25.8	107,767	▲ 11.4	28.5	126,345	17.2	28.6	0.85
中国	65,892	▲ 10.6	14.0	65,522	▲ 0.6	17.3	83,023	26.7	18.8	1.13
その他	108,712	▲ 8.0	23.1	75,875	▲ 30.2	20.0	89,253	17.6	20.2	0.69

▲は、前年比10%以上のプラス



(3) 業種別輸出動向～19業種中16業種がプラス、自動車の増加が大きく寄与～(図表6)

- ①平成 22 年度は全 19 業種のうち、16 業種がプラスとなり全体的に回復が顕著であった。
- ②このうち全体の 1/3 を占める**自動車**はその他地域、米国、EU 向けを中心に 15.8%増と大幅に増加し、機械輸出の増加に大きく寄与した。また、産業機械(30.2%増)も高い伸びとなった。その他、工作機械、繊維機械、建設機械、陸用内燃機も 50%を超える大幅な増加となった。
- ③一方、通信機械(16.2%減)、パソコン等電子計算機(11.0%減)、デジカメ等民生用電子機械(0.7%減)はマイナスとなった。
- ④なお、平成 19 年度の輸出額と比較してみると、同年度を上回ったのは、船舶、医療機械、ベアリングの 3 業種のみで、自動車は 68%、民生用電子機械、通信機械、産業車両は 50%台の水準である。

図表6. 上位19業種の輸出額の動き(年度) (単位:億円)

平成20年度				平成21年度				平成22年度				対19年度比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	154,249	▲ 23.9	32.7	自動車	118,209	▲ 23.4	31.2	自動車	136,890	15.8	31.0	0.68
産業機械	78,599	▲ 12.8	16.7	産業機械	61,073	▲ 22.3	16.1	産業機械	79,502	30.2	18.0	0.88
電子デバイス	40,236	▲ 19.7	8.5	電子デバイス	37,877	▲ 5.9	10.0	電子デバイス	40,294	6.3	9.1	0.80
民生用電子機械	31,752	▲ 22.4	6.7	船舶	23,625	1.4	6.2	船舶	24,513	3.8	5.6	1.07
軽電気機械	24,115	▲ 21.8	5.1	民生用電子機械	23,380	▲ 26.3	6.2	民生用電子機械	23,226	▲ 0.7	5.3	0.57
船舶	23,242	1.1	4.9	軽電気機械	21,078	▲ 12.6	5.6	軽電気機械	24,198	14.8	5.5	0.78
重電気機械	22,021	▲ 13.1	4.7	重電気機械	19,119	▲ 13.2	5.1	重電気機械	21,664	13.4	4.9	0.86
建設機械	14,179	▲ 18.1	3.0	軽機械	12,147	▲ 12.3	3.2	軽機械	14,706	21.1	3.3	0.69
軽機械	13,848	▲ 14.9	2.9	光学機械	12,468	3.0	3.3	光学機械	14,654	17.5	3.3	0.97
光学機械	12,105	▲ 19.7	2.6	通信機械	7,552	▲ 15.6	2.0	通信機械	6,331	▲ 16.2	1.4	0.56
電子計算機	9,701	▲ 30.2	2.1	電子計算機	7,226	▲ 25.5	1.9	電子計算機	6,432	▲ 11.0	1.5	0.46
通信機械	8,940	▲ 17.7	1.9	建設機械	7,496	▲ 47.0	2.0	建設機械	12,621	68.4	2.9	0.73
工作機械	8,176	▲ 18.4	1.7	医療機械	3,754	19.8	1.0	医療機械	3,822	1.8	0.9	1.26
医療機械	3,134	3.2	0.7	工作機械	3,775	▲ 53.8	1.0	工作機械	7,670	103.2	1.7	0.77
陸用内燃機	3,951	▲ 17.9	0.8	ベアリング	3,130	▲ 16.3	0.8	ベアリング	4,387	40.2	1.0	1.08
ベアリング	3,738	▲ 8.1	0.8	陸用内燃機	2,786	▲ 29.5	0.7	陸用内燃機	4,441	59.4	1.0	0.92
農業機械	2,316	▲ 3.5	0.5	農業機械	1,668	▲ 28.0	0.4	農業機械	1,817	8.9	0.4	0.76
産業車両	2,163	▲ 16.4	0.5	繊維機械	1,405	▲ 21.5	0.4	繊維機械	2,410	71.6	0.5	0.76
繊維機械	1,791	▲ 43.2	0.4	産業車両	1,000	▲ 53.8	0.3	産業車両	1,473	47.3	0.3	0.57
合計	458,256		97.2	合計	368,768		97.4	合計	431,051		97.6	0.76

▲は10%以上の増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:理化学機器、計量機、試験・検査機、時計、ミシン。光学機械:光学材料、カメラ。

(4) 機械輸入動向～国内景気を反映して大幅な落込み続く、TV、携帯電話は急増～(図表7)

平成 22 年度の機械輸入額が 14.5%増と大幅な伸びとなった要因は、

- ①機種別要因では、輸入二大機種の**電子計算機**(12.2%増)、**電子デバイス**(9.3%増)が増加し、また、TV、携帯電話、乗用車が 20%以上の大幅な増加となったことによる。一方、航空機は、3 年連続で2ケタの落込みとなった。
- ②地域的には、機械輸入額の 40%と最大の輸入先である**中国**(25%増)、16%の**ASEAN**(15.6%増)、14%の**韓国・台湾**(10.1%増)、13%の**EU**(9.8%増)からの輸入は、ほぼ 2 ケタ台の大幅増加であったが、14%の**米国**(2.5%減)からの輸入はマイナスとなった。
- ③なお、輸入額が輸出額を上回っているのは、電子計算機、TV、携帯電話、録画・再生機器、エアコン等白物家電、医療機器、時計、ラジオ、写真機である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年度)

単位:億円

平成20年度				平成21年度				平成22年度			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	21,101	▲ 24.2	10.5	電子デバイス	19,001	▲ 10.0	13.5	電子デバイス	20,763	9.3	12.9
電子計算機	20,425	▲ 13.3	10.2	電子計算機	17,761	▲ 13.1	12.6	電子計算機	19,923	12.2	12.3
重電気機械	8,702	▲ 12.0	4.3	重電気機械	6,610	▲ 24.1	4.7	重電気機械	7,512	13.6	4.7
自動車部品	8,466	▲ 19.0	4.2	自動車部品	6,005	▲ 18.9	4.3	自動車部品	7,381	22.8	4.6
乗用車	6,097	▲ 31.5	3.0	白物家電	5,264	▲ 5.6	3.7	TV	6,469	87.3	4.0
白物家電	5,575	▲ 0.2	2.8	医療機器	4,930	1.5	3.5	乗用車	6,107	38.9	3.8
航空機	5,347	▲ 23.4	2.7	乗用車	4,397	▲ 27.9	3.1	白物家電	5,926	12.5	3.7
光学機械	4,894	▲ 26.3	2.4	航空機	4,024	▲ 24.7	2.9	医療機器	5,124	3.9	3.2
医療機器	4,858	▲ 7.3	2.4	民生用電子部品	3,923	▲ 12.6	2.8	携帯電話	5,116	62.0	3.6
民生用電子部品	4,488	▲ 14.8	2.2	光学機械	3,600	▲ 26.5	2.6	民生用電子部品	4,158	6.0	2.6
分析試験検査機	3,392	▲ 20.1	1.7	TV	3,454	50.6	2.4	光学機械	3,951	9.7	2.4
風水力機械	2,754	▲ 6.3	1.4	分析試験検査機	3,392	▲ 20.1	2.4	航空機	3,596	▲ 10.6	2.2
時計	2,449	▲ 8.3	1.2	携帯電話	3,157	42.2	2.2	分析試験検査機	3,074	7.3	1.9
13機種合計	98,548		49.1	13機種合計	85,518		60.6	13機種合計	99,100		70.3
前年比10%以上の増加。 白物家電・民生用電気機器											